

平成25年度高等学校普通科におけるキャリア教育の実践に関する調査研究指定校

国公私	都道府県	学校名	研究開発の概要
公	群馬	群馬県立太田東高等学校	総合的な学習の時間をキャリア教育の中核となる時間として設定し、生徒の基礎的・汎用的能力の育成を図るとともに、総合的な学習の時間と各教科・科目等の学習活動を密接に連携させることによって、生徒自身が自らの将来のキャリア形成を主体的に考え、進路を適切に選択できるようにする。具体的には、生徒が関心をもっている職業と高校生活との関連性を把握できるような取組を行うことによって、生徒自身が将来必要となる資質や能力を理解しながら、学習意欲を高められるようにする。
公	三重	三重県立津高等学校	地元地域はもとより、日本国内あるいは国際社会の中で活躍するために必要な能力や態度の育成を図り、生徒が広い視野と高い志を持って自らの進路を切り拓いていくために、高等学校普通科における組織的・系統的なキャリア教育の実践研究を行う。特に、多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度として、日常の様々な場面・活動を通して、「探究心」を醸成し、「コミュニケーション能力」を高め、「課題解決能力」等を育む。
私	京都	立命館宇治高等学校	キャリア教育の中核となる時間として、高校1年生時の総合的な学習の時間に、以下の特徴を持ったキャリア教育授業を実施する。(1)生徒全員がボランティアを経験、(2)①将来を考えるキャリアデザイン、②人や自分とかわる力を伸ばすソーシャルスキル、③主体的に社会とかわるサービスラーニングの3本柱で構成された授業の実施、(3)「自分マニフェスト」作成、口頭試問(面接試験)実施など生徒がアウトプットする場の設定。
公	広島	広島県立三次高等学校	広島県北部の経済、医療、法律、教育分野などで、グローバルな視点・知見を持った上で地域社会への貢献を志す生徒の学びを充実させる教育プログラムの開発を進める。 具体的には、「大学の向こうにある社会」を認識させ、将来の生き方・在り方を意識して計画的・主体的に学ぶ意欲や挑戦力などの能力を育成させるため、学校設定科目「巴峡」の新設及び「国際交流教育」「道徳教育」の充実を図る教育プログラムを開発する。
公	高知	高知県立高知南高等学校	体験的な学習を核としながら、中高一貫教育校における中学校から高等学校への系統的なキャリア教育を再構築する。そのことにより、生徒の内発的動機に裏付けされた学力の向上に取り組み、生徒の学習意欲や将来設計の能力の向上を図る。また、生徒自身が自己の成長過程を記録するワークシートやアンケート等を活用して、取組の成果や課題を把握するとともに、その結果を校内の委員会や運営指導委員会において検証することで、キャリア教育の具体的な実践研究を進める。